

令和3(2021)年度 基盤研究(S) 審査結果の所見

研究課題名	前主系列星期から現在に至る太陽活動変遷の研究
研究代表者	塚本 尚義 (北海道大学・大学院理学研究院・教授) ※令和3(2021)年7月末現在
研究期間	令和3(2021)年度～令和7(2025)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b></p> <p>本研究は、応募者が独自に開発した世界最高精度の同位体分析装置を更に高性能化することによって、10億年ごとに異なる年代の月レゴリス隕石などのサンプルに太陽風起源の希ガスがどの深さまで侵入しているか測定するものである。太陽活動の活発さを測定し、太陽の前主系列星期から現在に至る活動の変遷を解明することを目指している。</p> <hr/> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b></p> <p>応募者が有する世界唯一の装置を用いて、種々の年代の隕石等のサンプル内の希ガスの分析から太陽活動の変遷を解明する独創的な着想に基づく研究で、学術的意義は高く、天文学、惑星科学、宇宙天気などの広範な科学分野への波及効果が期待される。照射量だけでなく希ガスのエネルギー分布も測定されれば、質的に極めて新しい知見が得られる。</p>